

理事会報告

GeosyntheticsAsia2012(バンコク)と IGS 理事会報告

埼玉大学地圏科学研究センター 桑野 二郎

GeosyntheticsAsia2012 (IGS の第 5 回アジア地域会議) が 2012 年 12 月 13 日～15 日にタイ・バンコクにおいて開催されたが、その前の 2 日間、IGS の理事会が開催された。理事会は、学会の会場である Centara Grand at Central Plaza で開かれた。今回の理事会にわが国から参加したのは、前会長の龍岡文夫東京理科大学前教授、理事の桑野の 2 名であった。龍岡前会長は、理事会の前日に会長、前会長などの幹部による Officers Meeting にも出席された。

12 月 11 日の理事会初日は、まず半数が改選された新任理事の紹介と 2 名の指名理事の承認があったのち、各委員会の委員長の改選があった。桑野は豪州 Bouazza 教授の理事満期退任に伴いその後任として Asian Activity Committee の委員長となった。次の Strategic Planning Review では、会員数や Web へのアクセスの増加など、IGS の戦略について話し合われた。会員数は過去 4 年間で約 30%増、支部は 2011～2012 年で 6 支部が設立され、日本と比べ世界的には活発化している。Web に関しては、TC で進められている過去の論文集の掲載など、コンテンツの充実が重要である。IGS の公式論文集 GI(IF=1.08)、GG(IF=2.04 地盤分野で 1 番)の Editors に謝意が表された。その後、各種委員会に分かれて会議が開かれた。Asian Activity Committee では、第 6 回地域会議が 2016 年 11 月 22～25 日にニューデリーで開催される事が決まった。また、アジア地域各支部の活動活性化や新支部設立の支援に対する予算要求などについて議論した。

12 月 12 日の理事会 2 日目には、各委員会の報告と予算要求があった。例えば Education Committee からは、リーフレットの作成、試験法の比較、Educate The Educator の計画、などに関し報告があった。その他、Filtration、Reinforcement、Barriers の 3 つの TC の報告などもあった。Barriers はインドとマレーシアで講師を派遣し Workshop を開く予定とのこと。2018 年の第 11 回世界大会は、イタリアと韓国が立候補し、招致のプレゼンを行った後に投票し、韓国に決まった(2018 年 9 月 16～20 日ソウルの予定)。その他会計報告などが行われた。

理事会は 11～12 日の 2 日間であったが、GeosyntheticsAsia2012 の会議期間中にも、支部設立が期待されている Malaysia からの参加者を集めて設立に向けた後押しをする、東南アジア諸国からの参加者を集め、支部の設立や活性化を働きかけるなど、Geosynthetics の普及に向け活動した。次回の理事会は、2013 年 11 月にガーナでのアフリカ地域会議に合わせて開催される予定である。

GeosyntheticsAsia2012 についても簡単に報告する。会議前日の 12 日のショートコース(桑野は補強土壁の耐震について講義)には約 50 人の参加者があった。本会議には約 300 人の出席者があった。京都大学勝見教授、桑野など 6 編の Keynote 講演、防衛大宮田教授など 6 編の Theme 講演は、何れも充実した内容であった。日本からの参加者数はやや物足りなかったが、学生の参加者が発表で気を吐いていた。4 年後のインド会議には日本からも多くの方にご参加いただき、日本の存在感を示すとともに、発展著しいアジア地域、中でもインドの様子を実感していただきたい。

バンコクの洪水などによる苦労があったと思われるが、AIT の Bergado 教授などタイ支部各位のご尽力により GeosyntheticsAsia2012 は成功裏に終わった。



理事会全体会議



GeosyntheticsAsia2012 開会式



勝見教授の Keynote 講演
(Geosynthetics for environmental protection
- compatibility and integrity -)



桑野の Keynote 講演
(Performance of reinforced soil walls
in the 2011 Tohoku earthquake)



宮田教授の Theme 講演
(Geosynthetics soil reinforcement:
current and future)



日本の若手参加者の発表 (日本大学山中氏)